

サイレント・トライマット TS-UL シリーズ施工要領書

ホテル・マンション階下・隣室への音の伝わりを軽減する防音床下地材

※施工の際には下記の施工要領に従って、正しい製品のお取り扱いをお願いします

【施工要領】

下地の確認

《モルタル下地》

下地は、平坦、平滑に仕上げ、施工後2週間（冬季は4週間）以上養生し、よく乾燥していることを確認してください。

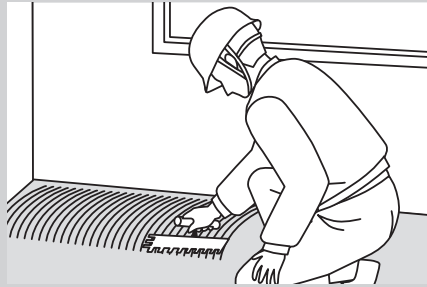
床下地材 TS-UL シリーズ（以下マット）の施工

《マットの上下面とも同じ接着剤をご使用ください》

- 推奨接着剤：ウレタン樹脂系接着剤（推奨接着剤：スーパーウレタック（株）タイルメント）

《モルタル面接着剤塗布》

- 規定のクシ目ゴテを使用して塗り溜りができないように接着剤を均一に塗布します。



《マットの張付け》

- 灰色面が仕上げ材面になるようご使用ください。
- マット接合部と仕上材接合部が重ならないよう割り付けてください。
- マット接合部はクラフトテープで留めることをお勧めします。
- 接着剤塗布後は適正なオープンタイムを取りマットを張り始め、張付け可能時間内に張り終えてください。



主成分	ウレタン樹脂	
	待ち時間	張付け可能時間
5℃	20～30分	60分以内
23℃	10～20分	50分以内
35℃	約10分	40分以内

- マット張り付け後、接着剤が硬化するまで（夏期 24 時間以上、冬期 48 時間以上）養生します。養生期間中は歩行や重量物運搬をしないでください。

仕上げ材（塩ビタイル）の施工

《マット面の接着剤塗布と仕上げ材施工》

- 接着剤塗布後は適正なオープンタイムを取り仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えてください。
- 仕上げ材張り付け後、ローラーやハンドローラーなどでよく圧着します。1～2時間後に再度圧着します。仕上げ材に浮きが見られる時は、接着剤が硬化するまで重りなどを置いて養生してください。

《接着剤取り扱い上の注意事項》

- ①作業場所は換気を行ってください。
- ②接着剤使用時は必要に応じて保護具を着用してください。